

相双地区の船びき網(シラス)の水揚状況

令和3年8月6日
福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

- 相双地区において、7月20日から船曳網によるシラス漁が開始されました。8/5までの漁模様は表1のとおりです。

表1 シラス水揚げ状況(7/1~8/5)

	令和3年	令和2年	令和元年
水揚数量(トン)	87	395	72
水揚金額(百万円)	28	136	22
単価(円/kg)	328.5	344.5	308.9
操業隻数(隻)	150	647	220

※集計は相馬双葉漁業協同組合の水揚日報を用いて行いました

参考:シラス測定結果

- 漁場環境部では、モニタリング検体のシラス(いわき地区)の魚体測定を行っています。
- 7月5日から8月1日までにに行った測定結果は図1のとおりです。
- 測定されたシラスは全長35mm前後が主体で昨年よりは大きく、カタクチシラスが大半を占め、マイワシシラスがわずかに混じりました。

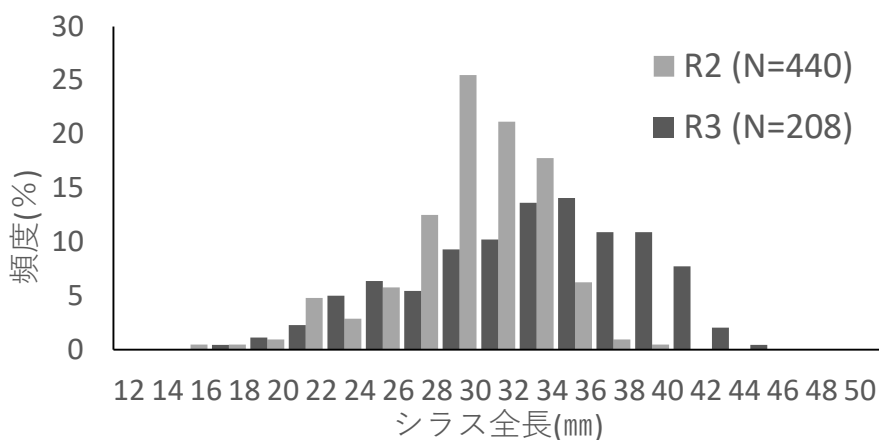


図1 シラス全長測定結果